

合併協議会 だより

最終号

2006.2.1
発行



幕別町・忠類村合併協議会

編集・発行 幕別町・忠類村合併協議会事務局

〒089-0603 北海道中川郡幕別町本町129番地の2 TEL 0155-55-3222 FAX 0155-54-5222

URL : <http://north.hokkai.net/maku-chu.gappei/> E-Mail : maku-chu.gappei@north.hokkai.net

2年間にわたる合併協議が終了 平成18年2月6日に新「幕別町」誕生



写真:第22回幕別町・忠類村合併協議会 集合写真(忠類村コミュニティセンター)

もくじ

報告	2
協議会での感想と新町への思い	3
合併までのあゆみ	6
正副会長挨拶	8

去る1月20日、忠類村コミュニティセンターにおいて、最終となる第22回合併協議会が開催され、「忠類地域担当助役、固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員の選任について」報告されたほか、出席された各委員から、合併協議を振り返っての感想や新町に対する思いなどが述べられ、合併協議会での協議が終了しました。



第22回幕別町・忠類村合併協議会が1月20日、忠類村コミュニティセンターで開催されました。

この日は、忠類地域担当助役、固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員の報告の後、出席された各委員から、合併協議を振り返っての感想や新町に対する思いなどをお話いただき、2年間にわたる合併協議が終了しました。

報告

● 忠類地域担当助役、固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員の選任について

平成18年1月17日に開催された幕別町議会において、忠類地域担当助役、固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員の選任に同意があったことを受けて、忠類村に関する委員について報告されました。

忠類村に関する委員については、次のとおりです。

忠類地域担当助役

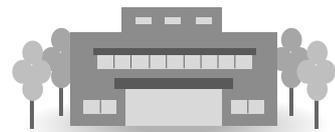
氏名 遠藤 清一 (現忠類村長)
任期 平成18年2月6日
～平成22年2月5日

固定資産評価審査委員会委員

氏名 姉崎 秀男
(現忠類村固定資産評価審査委員会委員)
任期 平成18年2月6日
～平成21年2月5日

教育委員会委員

氏名 瀧本 洋次
任期 平成18年2月6日
～平成20年9月30日



- 案件終了後、忠類村の菅野委員から「『乳幼児おむつのごみ処理手数料減免』について、合併協議では廃止すると決めたが、忠類村では子供の数の減少が顕著であるとともに、幕別町議会において『指定ごみ袋の支給を求める陳情書』が採択されたと聞いているので、子育て支援策として陳情内容の早期の実現を要望したい」との発言があり、岡田会長から「合併協議会において、忠類村で実施されている支援策を廃止すると決めたら、住民にとって良い方向への変更であれば、許されるだろうと思うので、新年度に向けて、前向きに検討させていただきたい」との答弁がありました。

～ 合併協議を振り返って～ 新「幕別町」にかける思い

平成16年1月23日に開催された第1回合併協議会から、平成18年1月20日までの2年間、22回にわたって開催された合併協議会においては、毎回、委員の皆さんに、熱心なご協議をいただきました。

このたび、最終回となった合併協議会におきまして、委員の皆さん一人ひとりから、この2年間の振り返って感想を述べていただきましたが、お互いの思いやりに対する感謝の言葉や、新「幕別町」のまちづくりに対する決意などの発言が数多くありました。

3ページにわたり、皆さんからの発言を抜粋して掲載いたします。

幕 別



岡田 和夫 会長

平成16年から2年間の長きにわたり、それぞれの町や村を思う熱心な協議をいただいた結果、合併が成就したことに感謝とお礼を申し上げます。

2月6日には、新「幕別町」が誕生しますが、合併はゴールではなく、新しいまちづくりのスタートです。先人の方々が苦勞して築かれてきた幕別、忠類の歴史を忘れることなく、新しい一つのまちとして発展し、住民の方に「合併して良かった」と言っていただけのまちづくりに、精一杯の努力を続けていきたいと思っています。

忠 類



遠藤 清一 副会長

2年余り、22回にわたった協議も今日が最後となりました。各委員さん始め、事務局職員、両町村職員のご労苦にお礼を言いたいと思います。

編入合併ということで協議を進めてきましたが、幕別の委員の方には、対等な立場で協議していただき、忠類地域の為に色々なことを譲っていただいたことに心を打たれました。

新「幕別町」においては、地域担当助役として、忠類地域と本町の官のパイプ役として与えられた期間、一生懸命汗を流していきたいと思っています。



本保 征喜 委員

大変、長丁場にわたっての協議でありましたが、合併が成就して本当に良かったという心境です。

合併協議を通して培われた信頼と尊重をベースに、自らが決定した歴史に責任を持つ意味でも、2月6日からスタートする新「幕別町」の進む道を皆さんと確かなものにしていきたいと感じています。

忠類の皆さんの勇気ある決断をしっかりと受け止め、一生懸命努力していきたいと思っています。



杉坂 達男 委員

幕別町側の委員さん、町民の皆さんに深い思いをいただいたおかげで、対等の立場で協議が行われ、合併の姿が整いました。

合併後は、幕別町の南玄関として、先人の皆さんが築きあげられた村を、地域として更に伸ばしていきたいという思いでいっぱいです。

また、委員の皆さんの深い思いや我々の要望が伝わり、この姿になったことに、胸の熱くなる思いです。長い間、ありがとうございました。

幕 別



瀬瀬 太郎 委員

更別村が離脱した後、最初の協議会と同じく最後の協議会もこの場でとなりました。本当に真摯に協議し、合併が成就したことに感深く胸に沁みる次第です。

個人的には、新町建設計画の「人と大地が躍動しみんなで築くふれあいの郷土」というスローガンの一部に私の提案言葉が採りあげられたことが、印象に残っています。



佐々木 芳男 委員

第13回協議会において、遠藤村長から合併の方式は「編入合併」、杉坂議長から新町の名称は「幕別町」という発言があり、非常に大きな決断であると同時に、忠類の皆さんの心が伝わってきました。

今後は、新「幕別町」の南玄関としての忠類村が、より一層繁栄するために皆さんと共に勉強していきたいと思えます。



多田 順一 委員

幕別町の合併検討会議で会長を務めた縁で法定協議会にも参加させていただき、さらに合併に漕ぎ着けたことは、心に残る人生の一ページだと思います。

二つの町が一つになるには、お互いの信頼関係が無ければ絶対にできないと思っていますので、信頼を基に立派なまちになるよう、少しでも力になればと考えています。



若原 輝男 委員

私は多田さんと一緒に幕別町の合併検討会議の一員として取り組み、合併協議会に参画をさせていただきました。

忠類の方はどんな思いで合併を迎えるのか、悔しい思いの方もたくさんいるのではないかと思います。これから親しんでいただいて、一緒に新しいまちづくりをしていきたいと考えています。



杉山 勝彦 委員

平成18年は、幕別、忠類の方にとって非常に歴史的な年であると思えます。

道内に一つのまちに3農協はあまり無いので、3農協で互いに協力しながら、基幹産業である農業を育てていきたいと思っています。

問題は合併後で、皆でまちづくりのために、それぞれの立場、立場で努力することが一番大事であると思えます。

忠 類



南山 弘美 委員

幕別町との合併は、距離は遠いが地域を残すには良いのではないかとということで協議を進めてきました。

協議の中には、更別の離脱、2町村での協議継続という山がありましたが、何とか乗り越えてきました。

創業は易く守成は難しと言いますが、新しいまちづくりに頑張っていきたいと思えます。



齊藤 順教 委員

忠類村から村という字が無くなることは、やはり寂しい。

更別離脱の際、幕別との合併協議を決断したのは、杉坂議長の「政治家の端くれである」という言葉と、岡田町長の忠類に対する思いやりに応えるべきと思ったことであります。

新「幕別町」においても互いに協力し、困難な問題を乗り越えていきたいと思えます。



帰山 孝夫 委員

昭和24年の分村直後に役場に奉職し、最初の仕事が開村祝賀行事で、その後40年、村と共に歩んできました。

昨年2月、合併調印式において、村が廃止される書類に署名した時は、手が震えて書けなかったことを思い出します。

合併後、地域の融和に力を入れることが、新「幕別町」の発展に繋がると考えています。



村上 富二 委員

合併は誰もしたくないし、しないで済むのであれば今でもしたくありませんが、財政的、人口的にも避けて通れないということから合併を決断しました。

忠類村議員は1年3ヵ月残りますが、合併協議で決まった骨子が具体的にどうなっていくのか、合併協議に席を置かせてもらった者として陰ながら援助したいと思っています。



小原 喜久雄 委員

幕別町・忠類村合併協議会の委員として協議に参加をさせていただきました。

平成18年2月6日新「幕別町」のスタートです。合併協議会で検討されたことが、地域の文化、社会、産業の発展に貢献出来ればと思っております。

新「幕別町」の発展を心よりお祈り申し上げます。

※ 協議会欠席のため、後日コメントをいただきました。

幕 別



瀬上 良明 委員

※ 協議会欠席のため、後日コメントをいただきました。

忠類村の皆さんの断腸の思いの決断により、合併が成就しました。この思いをこれからの幕別、忠類の双方にとって、お互いに良かったと思えるまちづくりのための糧とし、新たな気持ちで、町民一丸となって住みやすいまちを目指して頑張りましょう。



吉村 学 委員

2年間、十勝で最初となる合併協議に係わることができたことは、大きな経験となったことに感謝するとともに、ここからが本当の意味での仕事と責任が始まると考えています。今後は、かかわりのある文化協会、町民芸術劇場、商工会において、一町民として、合併して良かったと思われるように、力を注ぎたいと思っています。



宮本 真由美 委員

無事、協議が終了したことを、心から嬉しく思います。新しく生まれる町に、人や自然、物に対する愛が溢れ、住民の方々が幸せに過ごせるよう、心よりお祈り申し上げますとともに、忠類地区の方々に対して、いつまでも思いやりの気持ちを忘れないでいただくようにお願いします。



西尾 治 委員

忠類村職員の皆さんが、法定協へ2年半一生懸命通われ、熱心に協議したことが今日を迎える結果になったと感謝しています。本当のまちづくりは2月6日以降にあると思っていますので、住民の方の思いを受け止め、十勝の皆から羨まれるようなまちを皆さんと一緒に作って行きたいと思っています。

忠 類



加藤 修治 委員

忠類村が無くなるという非常に複雑な思いで、合併協議に参加していましたが、今では色々な意味で大変意義深く光栄に思っています。合併後は、幕別町の町民として、忠類地域の住民として、経済団体の一員として、忠類の活性化と若者が安心して住める地域になるよう一生懸命取り組みたいと思います。



森 徹 委員

合併協議が成就したことに対して「どうだ!」と言いたいです。合併協議が成功したのは、幕別町の皆さんが忠類村のことを特に考えていただいたことによると思っています。これからは「合併協議に携わったお前のせいで寂れた」と言われないように、楽しく住み良い町になるよう、一生懸命努力していきたいと思っています。



菅野 由紀子 委員

村で生まれ育った者ではありませんが、住み慣れた村の名が無くなるのは寂しいというのが本音です。この協議会で、行政に求めるだけでなく、住民自らが心を合わせて厳しい時代に立ち向かわなければならぬと目覚めさせてくれました。これから、後悔の無いまちづくりに協力していきたいと思っています。



邊見 敏夫 委員

過日、岡田町長が、本当の合併のスタートはこれからだということを話され、今でもその言葉が心の中に焼き付いています。二度と経験のできないような体験をさせていただき、委員の皆さんをはじめ、関係された多くの方々のご尽力で合併という目的が達成できたことに感謝します。

合併協議会委員の皆さん、ありがとうございました。

十勝中央合併協議会開催



H16.1.23

12月25日に設置された「十勝中央合併協議会」の第1回協議会が開催され、規約、規程、合併協定項目など17議案について承認、決定されました。

協議会で確認された「新町将来構想」や、それまでに合併協議会で決定された内容を、直接住民の皆さんに説明する住民説明会が、3町村13会場で開催され、延べ276人の参加をいただきました。



住民説明会開催



H16.8.20
~8.29

幕別町・忠類村合併

H18.2.6
合併

新『幕別町』誕生



H18.1.20

合併協議終了

約2年に及んだ合併協議が幕を閉じました。協議会委員一人ひとりが、これまでの活動を振り返り、互いの思いやりに感謝したほか、これからは新町住民の一員としてまちづくりに協力していく決意が述べられました。

H17.8.19

総務大臣告示



幕別町議会、忠類村議会の議決、知事への申請、北海道議会の議決、知事の決定を経て、この日、幕別町・忠類村の合併が正式に決定しました。

H16.11.5

更別村が離脱

第12回合併協議会において、更別村から合併協議会離脱の申し入れがあり、協議会としてこれを了承し、3町村での合併協議を終了しました。

幕別町・忠類村合併協議再スタート



H16.11.29

住民懇談会などで意見を聞いた結果、2町村で合併協議を再開することとなり、幕別町議会、忠類村議会での議決を経て、この日「幕別町・忠類村合併協議会」が開催され、合併の方式や新町の名称などが決定されたほか、新町建設計画案が提案されました。

全合併協定項目が決定



H17.2.3

全ての合併協定項目が決定されたことから、協議結果を「合併協定書」として取りまとめ、委員全員で確認しました。

今後、幕別町、忠類村それぞれで住民説明会や公共的団体等との意見交換などを通じ、合併の是非を判断することとしました。

までのあゆみ

合併協定書調印式



H17.2.25

幕別町、忠類村それぞれの住民説明会を経て、近藤十勝支庁長、合併協議会委員の立会のもと、岡田幕別町長、遠藤忠類村長が合併協定書に調印しました。



H17.2.14
~2.16

住民説明会開催



合併協議会で確認された「合併協定項目」、「新町建設計画」の内容を直接住民の皆さんに説明するため、幕別町、忠類村でそれぞれ説明会が開催され、述べ397人の参加をいただきました。

合併協議会廃止に伴う御挨拶

幕別町・忠類村合併協議会 会長 岡田 和夫
副会長 遠藤 清一

幕別町と忠類村は、平成15年12月に更別村を含めた1町2村による法定協議会「十勝中央合併協議会」を設置し、合併協議を進めてまいりました。平成16年11月に更別村の合併協議会からの離脱があったものの、安定した地域自治を維持していくためには、2町村となっても合併という手段を選択することが必要であるという結論に達し、同年11月25日に「幕別町・忠類村合併協議会」と名称を変更し、2町村での合併協議を継続してまいりました。

この間、議会議員の方々や関係機関、また、住民の皆様には並々ならぬご愛顧と、深いご理解、ご指導をいただきましたことで、紆余曲折がありながらも協議は進み、平成18年1月20日、第22回合併協議会をもって協議が無事終了し、合併の日の前日であります平成18年2月5日をもって幕別町・忠類村合併協議会は解散することとなりました。これまでご協力をいただきましたことに対しまして、関係各位に衷心より感謝とお礼を申し上げます。

顧みますと、少子高齢化や、国と地方の財政のひっ迫、地方分権などが要因で、今回の合併協議を他町村に先駆けて行ってきましたが、日々刻々と変わる社会情勢を見ましても、地方行政に対する厳しさはますます混迷を極めてきていることから、旧市町村合併特例法下で合併が成就できましたことは、少なからずこの地域住民に有益であることを確信するところであります。

今後は、これまで先人たちが築きあげてきた歴史や文化、産業などを大切にしながら、一日も早く新町の一体性と安定した自治体制の確立に努力していくとともに、合併協議で両町村の関係者や住民が交わした熱き思いを胸に、住民と行政が協働して築く住民のための新たなまちづくりに全力を傾注してまいりたいと存じます。

結びに、新町の更なる発展と、住民の皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申しあげまして、本協議会の廃止の報告とお礼の御挨拶とさせていただきます。

～合併協議会事務局からのお知らせ～

平成15年12月の合併協議会設置から約2年の長きにわたり、皆さんに合併協議の状況をお知らせしてきたこの「合併協議会だより」も、今回の第21号をもって最終号となります。

また、合併協議会の解散に伴いまして、合併協議会のホームページも2月28日をもって閉鎖いたしますが、幕別町のホームページ（下記アドレス参照）にて、合併情報をご覧いただけます。

これまで長い間ご愛読いただき、誠にありがとうございました。

<http://www.makubetsu.jp/>